

中央放射線部

《概要》

（機器の更新について）

平成 20 年度は、医療機器としては既存のシングル C T 装置に代わり最新の 64 列のマルチスライス C T 導入を行いました。これに伴い心臓 C T の件数が増加しました。さらに、心臓・血管系以外の部位については、2 台の C T 装置のスペックがほぼ同程度となったため、より柔軟な運用が行えるようになりました。

また、感染症センターにおける撮影関連機器の充実を行いました。

診断分野における残りの機器（一般撮影系・核医学検査装置・X 線 T V 装置など）は継続課題となりました。

（フィルム・レスの実施）

平成 20 年は一部特殊な検査をのぞく全ての検査でフィルム・レス運用を開始致しました。高精細モニタおよび検像システムを設置し、入院診療（7 月から）・外来診療（10 月から）ともに単純撮影系も含めたフィルム・レス運用に移行しました。しかし、超高精細モニタが必要な乳腺撮影（MMG）や同時に表示する画像数の多い手術室での運用などでは、効率化優先ではなく医療安全の観点からフィルム運用を残しています。

また、新たな取り組みとして紹介患者様が持参された画像データ（フィルム・CD-R）の院内 PACS への取込みを開始しましたが、持参された CD-R のなかには、DICOM 違反などで取り込めない CD-R も存在しており、今後の検討課題となりました。

（乳腺撮影画像認定）

平成 20 年度は、『マンモグラフィ検診施設画像認定』の更新年度にあたっていましたが、遅滞なく認定資格の更新を達成できました。

（次年度に向けて）

継続課題とした装置に対し、更新にむけた努力を引き続き行うとともに、平成 20 年 6 月から開始したフィルム・レス運用を主とした経費削減を積極的に行う。また、放射線部門には、安全でミスの無い検査の遂行が求められますが、当院の性格上 24 時間必要な画像診断検査や IVR 治療に迅速に対応できる体制の構築も必要と思われる。

また、放射線技師としての技術面でのスキルアップを図るだけでなく、施設見学や院内活動・社会活動などを通じてコミュニケーション能力を向上させる努力が必要である。その一環として今年度同様、オープンカンファレンスに積極的に取り組んでいく。

2008 年度月別検査実施件数

	2008 年									2009 年			累 計	
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	今年度	前年度
単純撮影	3,924	3,802	3,344	3,357	3,118	3,204	3,627	3,026	3,288	3,337	3,199	3,821	41,047	48,805
乳房撮影	72	63	74	78	71	67	105	67	78	60	53	67	855	906
歯科撮影	48	47	53	48	33	42	48	53	41	38	58	59	568	654
骨塩定量	53	79	72	56	38	34	68	49	44	42	46	38	619	703
ポータブル撮影	641	711	639	554	528	472	601	731	799	707	725	849	7,957	9,669
術中撮影	121	124	120	130	149	125	136	139	130	126	138	156	1,594	1,326
CT	1,063	1,041	1,004	1,031	908	977	1,230	1,081	1,136	1,148	1,237	1,264	13,120	12,936
単純	678	696	598	604	567	570	737	672	712	732	763	782	8,111	
造影	385	345	406	427	341	407	493	409	424	416	474	482	5,009	
心臓	17	27	61	74	43	53	69	54	69	57	60	70	654	
MR	627	592	629	588	568	572	650	557	576	604	567	636	7,166	7,545
単純	513	452	503	450	467	476	525	456	451	471	449	509	5,722	
造影	114	140	126	138	101	96	125	101	125	133	118	127	1,444	
血管造影	158	174	172	165	122	127	144	146	149	141	160	156	1,814	1,669
心臓	131	136	147	134	100	102	121	129	120	119	120	126	1,485	
頭頸部	16	24	14	17	7	12	15	8	8	17	28	18	184	
腹部骨盤	7	11	6	10	12	5	4	7	13	4	5	6	90	
その他	4	3	5	4	3	8	4	2	8	1	7	6	55	
TV室撮影	180	157	143	131	138	137	162	132	138	105	125	128	1,676	2,011
RI	80	75	75	104	91	65	112	86	88	104	92	109	1,081	1,311
放射線治療	304	272	314	294	342	368	351	436	352	320	419	555	4,327	4,748
* 乳腺超音波検査	234	226	249	262	197	240	288	241	232	247	195	197	2,808	3,207

* 乳腺超音波検査は、放射線技師実施分の件数です

《業績》

(1) 学会研究会報告 (2008. 4～2009. 3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	職業感染防止を目的とした抗体価・ワクチン接種歴データベースの作成について	中平修司	日本環境感染学会	2009. 2. 28
2	脳血管模型作成講習会	行 正剛	関西循環器撮影研究会	2008. 7. 19-20

(2) 学術講演 (2008. 4～2009. 3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	臨床検査の実際(低磁場MR装置)	田原大世	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『MR』	2008. 7. 19
2	MR検査受診者心理	飯塚明寿	(社)日本放射線技師会 生涯学習 セミナー『MR』	2008. 7. 19
3	医療サービスと放射線技師の役割	飯塚明寿	(社)日本放射線技師会 医療社会倫理学セミナー	2008. 8. 3
4	フィルムレス運用のポイント	小西康彦	東部放射線研究会(大阪)	2008. 8. 30
5	生涯学習セミナー「CT:整形領域」	中平修司	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『CT』	2008. 9. 6
6	フィルムレス運用のポイント	小西康彦	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『画像管理』	2008. 9. 13
7	コンピュータの基礎	小西康彦	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『画像管理』	2008. 9. 14
8	医療サービスと放射線技師の役割	飯塚明寿	(社)日本放射線技師会 医療社会倫理学セミナー	2008. 9. 27
9	64 列 MSCT の導入に伴う造影検査の変化	中平修司	第 20 回医用マルチメディア研究会	2008. 9. 27
10	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2008. 9. 28
11	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2008. 9. 28
12	NW 型ワークステーションの特徴とは?	中平修司	CT 画像研究会	2008. 11. 8
13	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2008. 11. 16
14	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2008. 11. 16
15	明日から役立つMRIセミナー(頭頸部)	田原大世	(社)大阪府放射線技師会 MRIセミナー	2008. 12. 18
16	コンピュータの基礎	小西康彦	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー	2009. 1. 10
17	フィルムレス運用のポイント	小西康彦	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『画像管理』	2009. 1. 11
18	フィルムレスレスに挑む～ここを押えるべし～	小西康彦	日本放射線技術学会近畿部会第 52 回学術大会シンポジウム	2009. 2. 1
19	ユーザの経験した障害事例	小西康彦	日本医用画像管理学会『画像管理 中級セミナーin 東京』	2009. 2. 8

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
20	NW 型ワークステーションの特徴とは？	中平修司	広島 CT テクノロジーセミナー	2009. 2. 21
21	MPR の画像特性	磯野仁美	広島 CT テクノロジーセミナー	2009. 2. 21
22	フィルムレス運用での画像チェック(アンケートより)	小西康彦	第 21 回医用マルチメディア研究会	2009. 2. 27
23	患者心理の理解とその対応について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2009. 3. 1
24	医療人に必要なマナーとその指導法について	飯塚明寿	(財)医療研修推進財団研修会	2009. 3. 1
25	地域医療における情報共有の必要性	飯塚明寿	(社)和歌山県放射線技師会研修会	2009. 3. 7
26	臨床検査の実際(低磁場MR装置)	田原大世	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『MR』	2009. 3. 21
27	MR検査受診者心理	飯塚明寿	(社)日本放射線技師会 生涯学習セミナー『MR』	2009. 3. 21

(3) 院内研究活動 (2008. 4～2009. 3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	当院の放射線従事者の管理について	安永桂介	2009. 1. 30
2	放射線従事者教育訓練(妊娠と被ばくについて)	猪股美紀	2008. 11. 28
3	TQM 大会『予約遅刻患者への対応』	二井 誠	2008. 2. 27